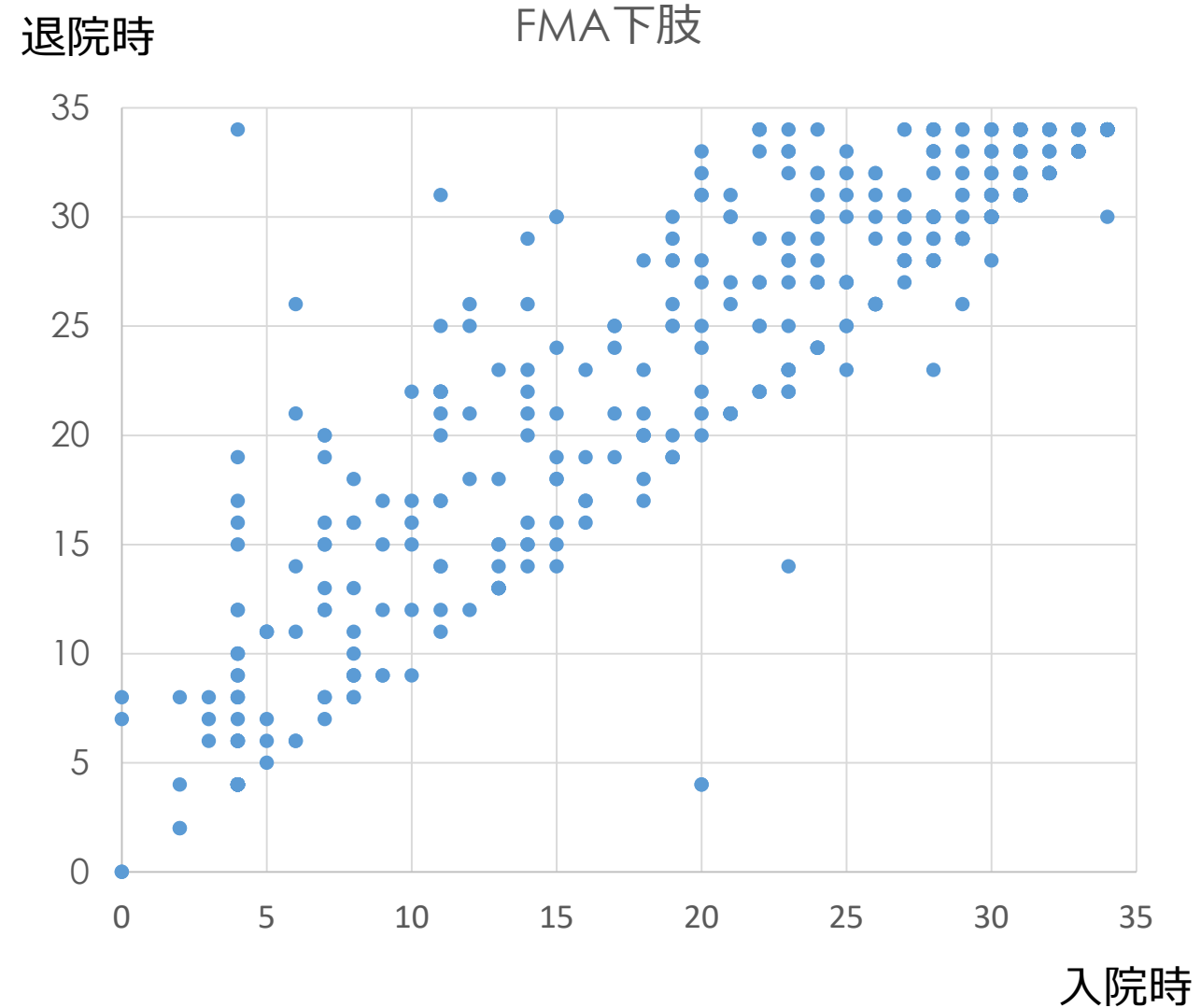
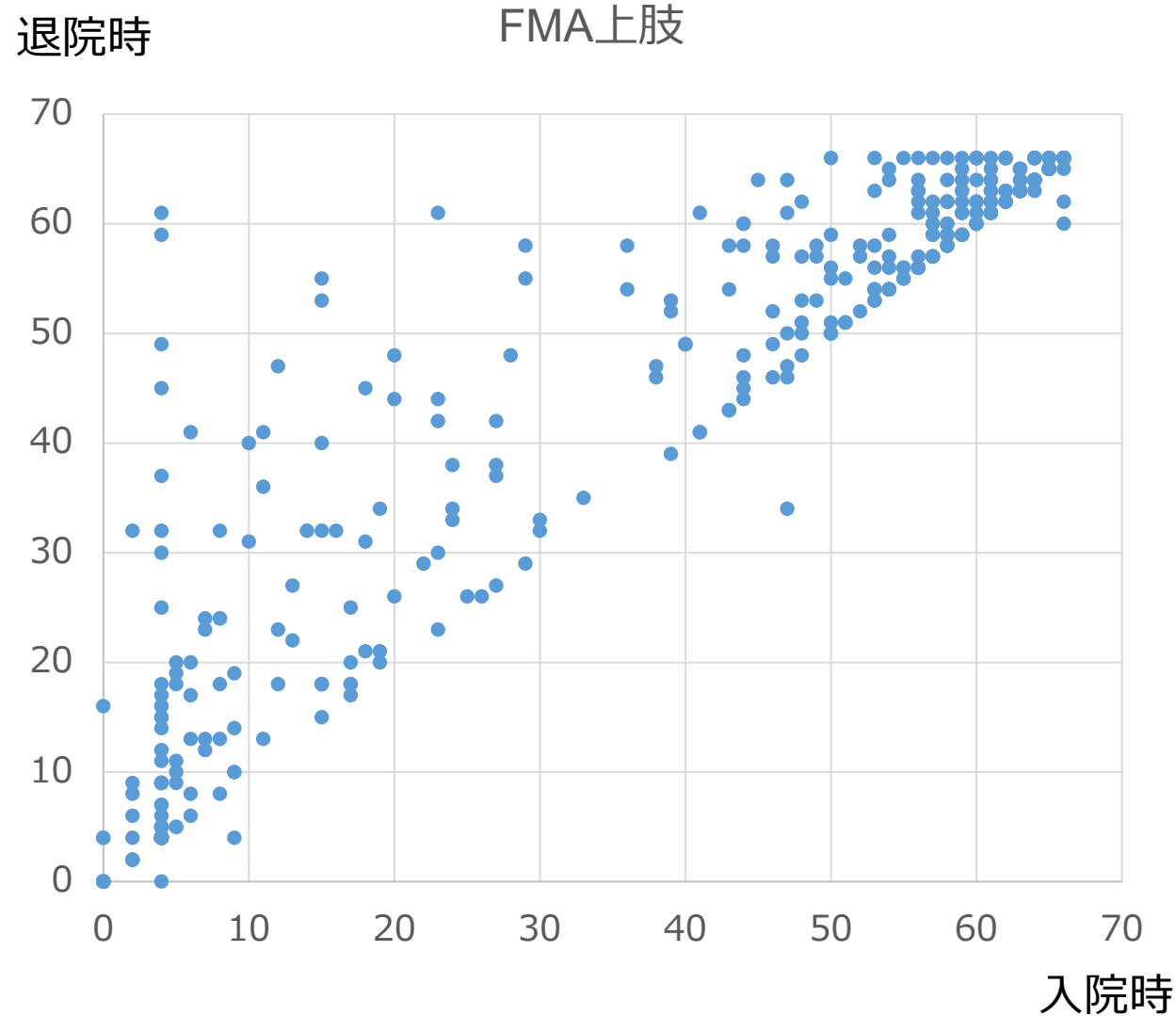


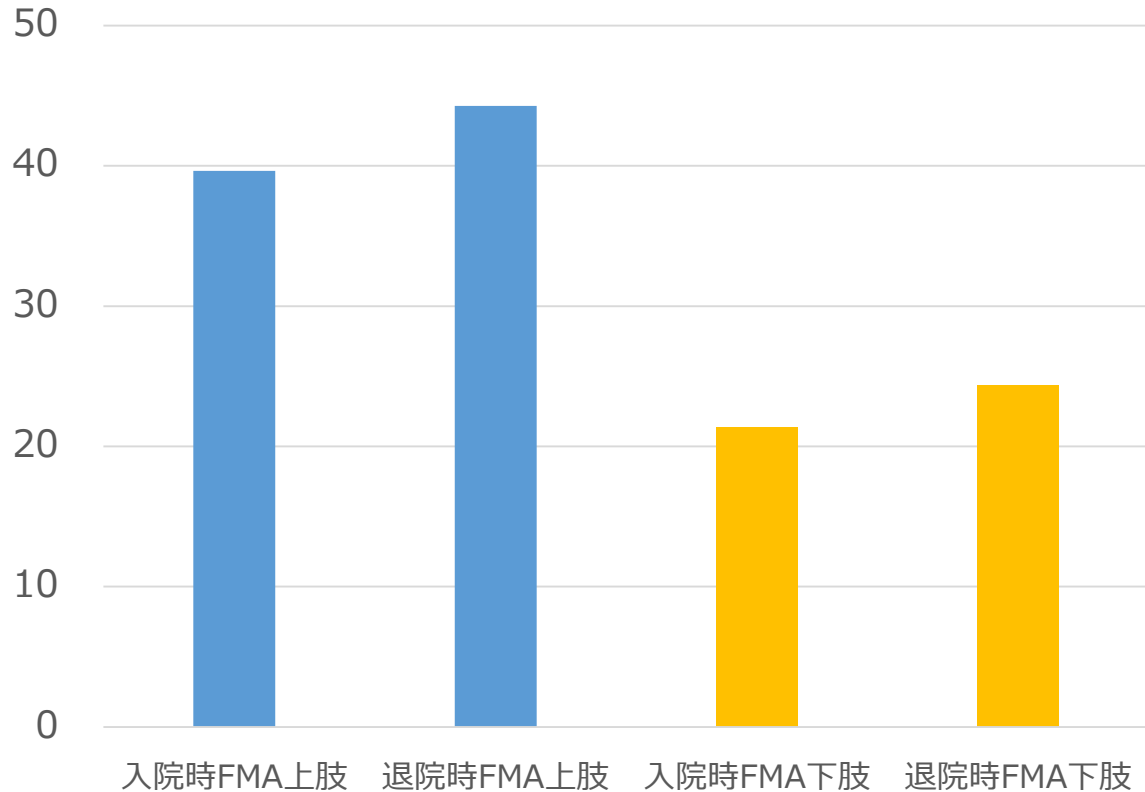
Fugl-Meyer (上・下肢)



* FMAは運動麻痺の程度を評価する指標です（上肢0-66点、下肢0-34点、合計100点）

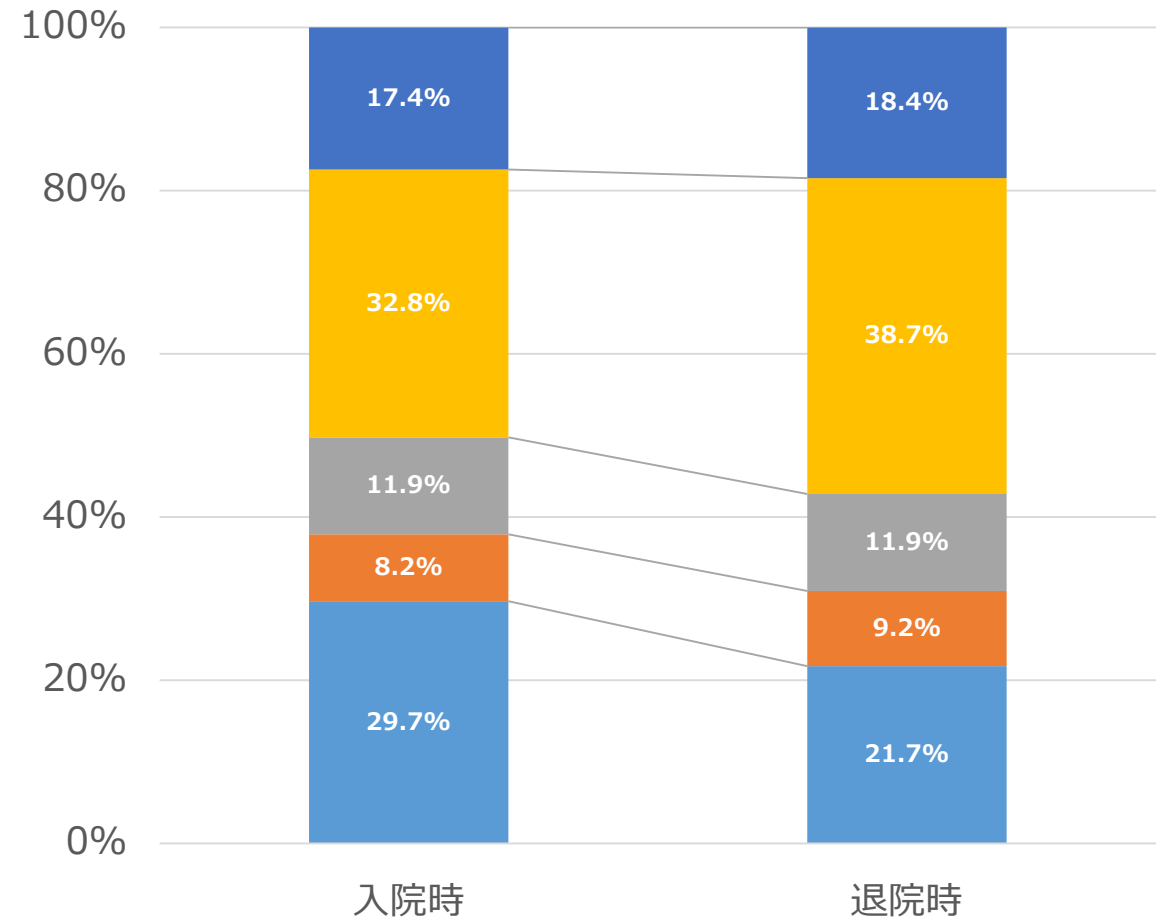
Fugl-Meyer Assessment : FMA (上・下肢) 、 上肢機能

FMA上肢・下肢



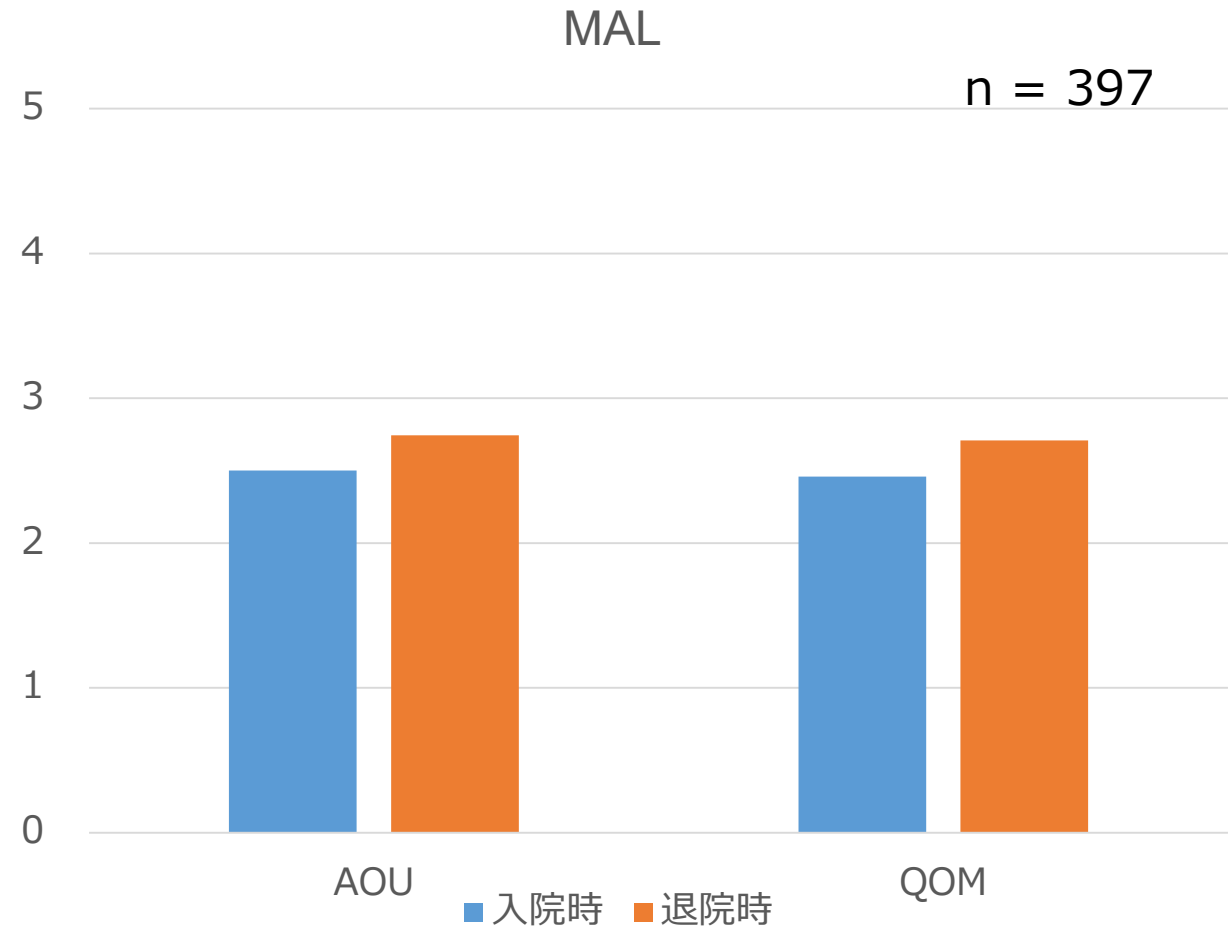
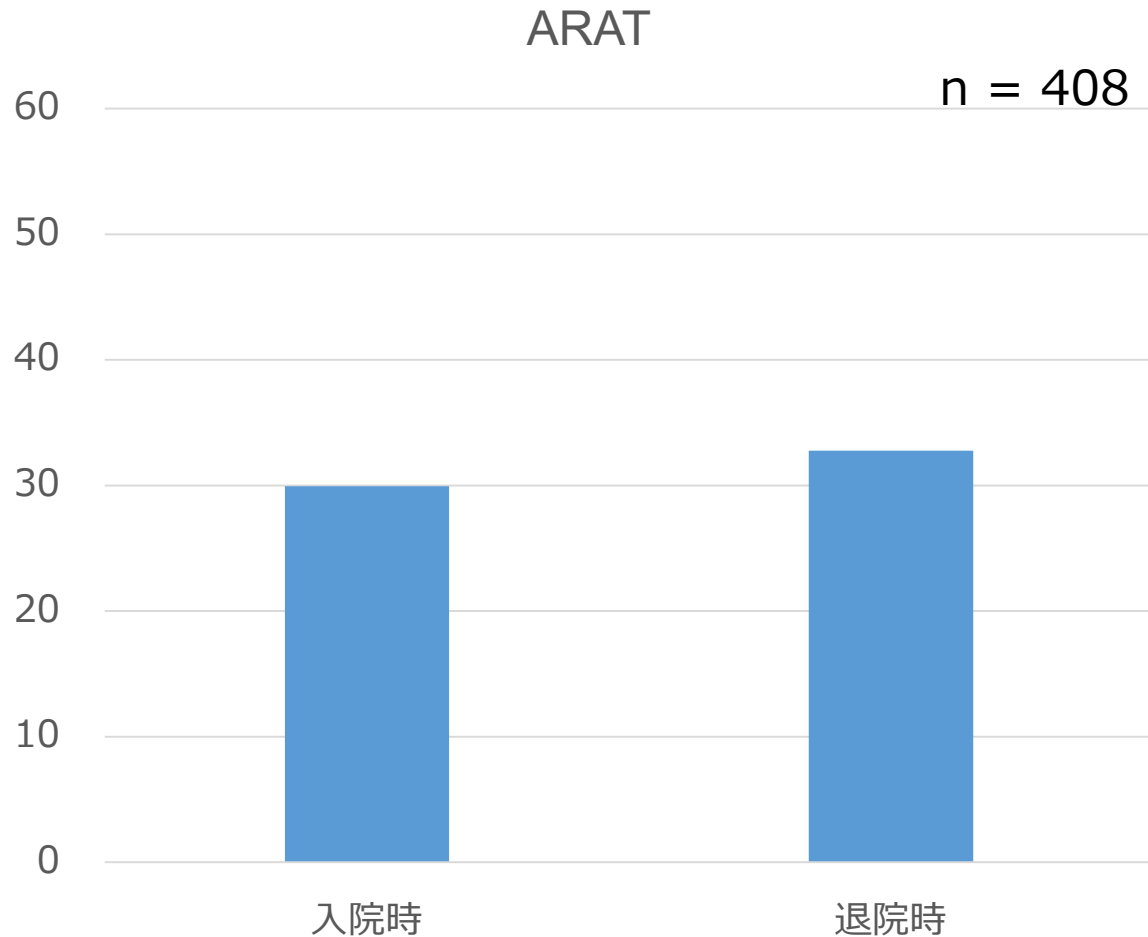
* FMAは運動麻痺の程度を評価する指標です
(上肢0-66点、下肢0-34点、合計100点)

上肢機能



■ 機能的使用困難 ■ 補助上肢 ■ 補助手 ■ 実用手 ■ 麻痺無し

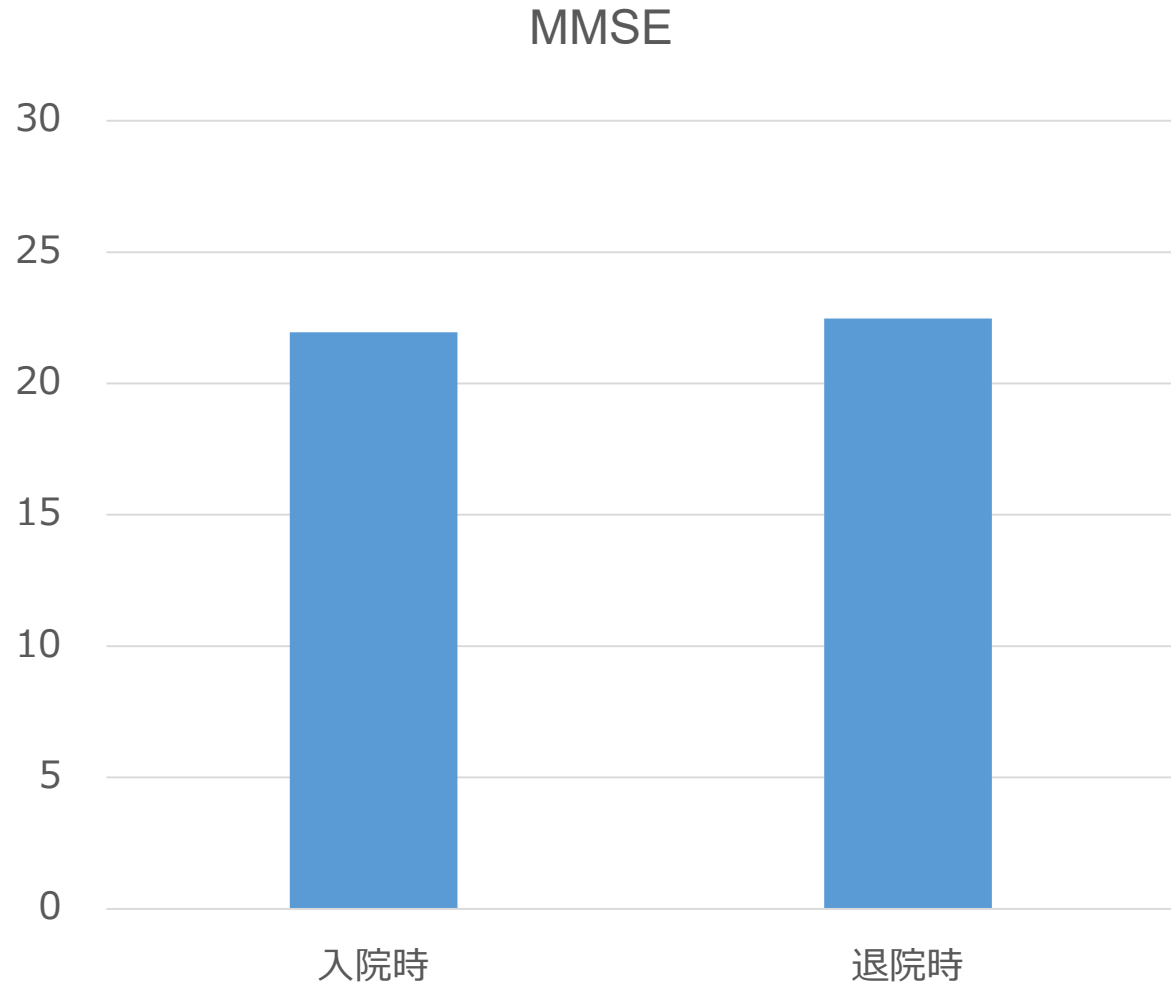
Action Research Arm Test (ARAT) 、 Motor Activity Log (MAL)



* ARATは上肢の粗大運動や把持動作、つまみ動作などを評価する指標です (0-57点)

* MALは運動麻痺を伴う上肢の日常生活での使用頻度 (AOU) や運動の質 (QOM) を評価する指標です (0-5点)

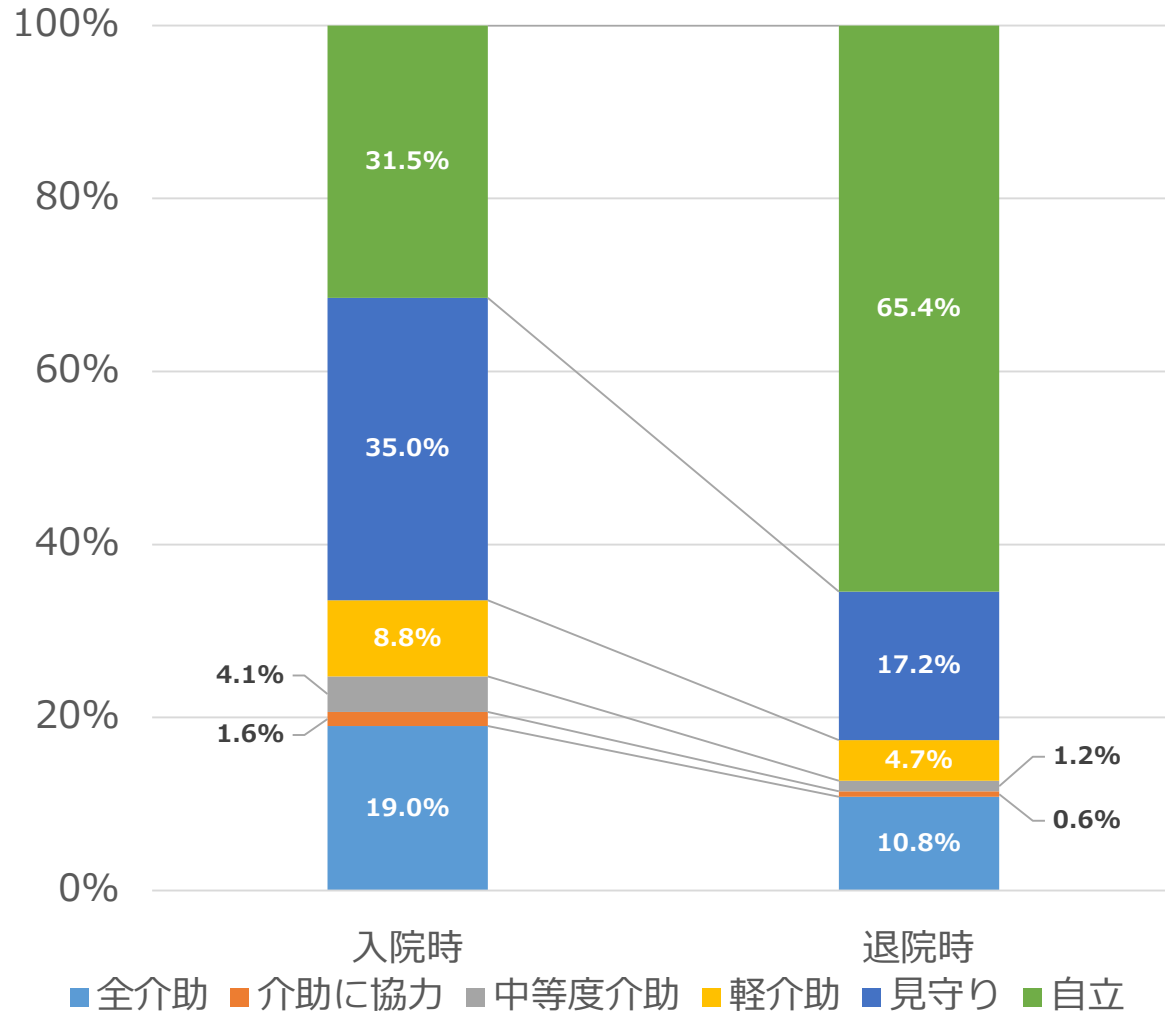
MMSE



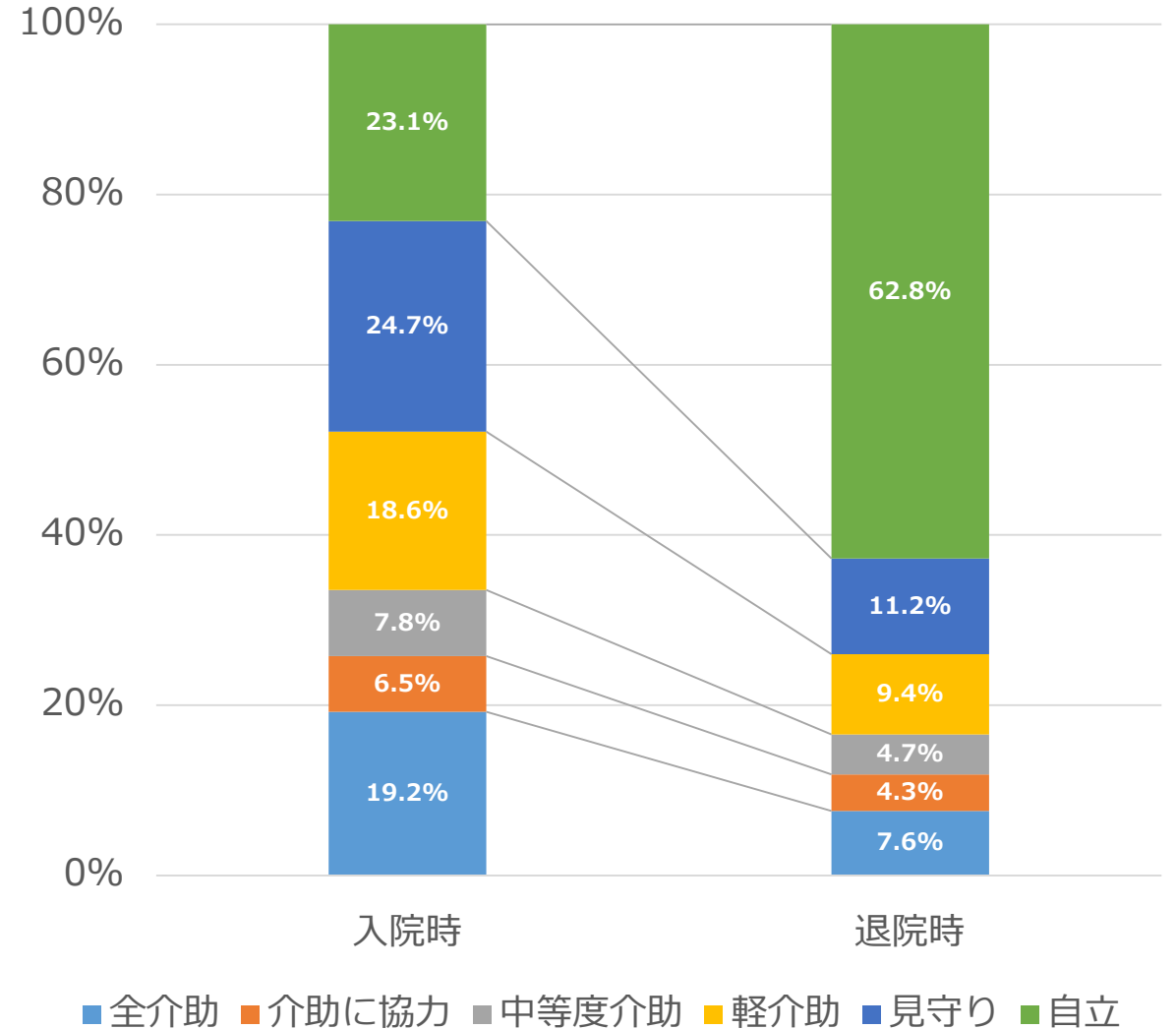
* MMSEは認知機能を評価する指標です (0-30点)

ADL：食事・整容

食事

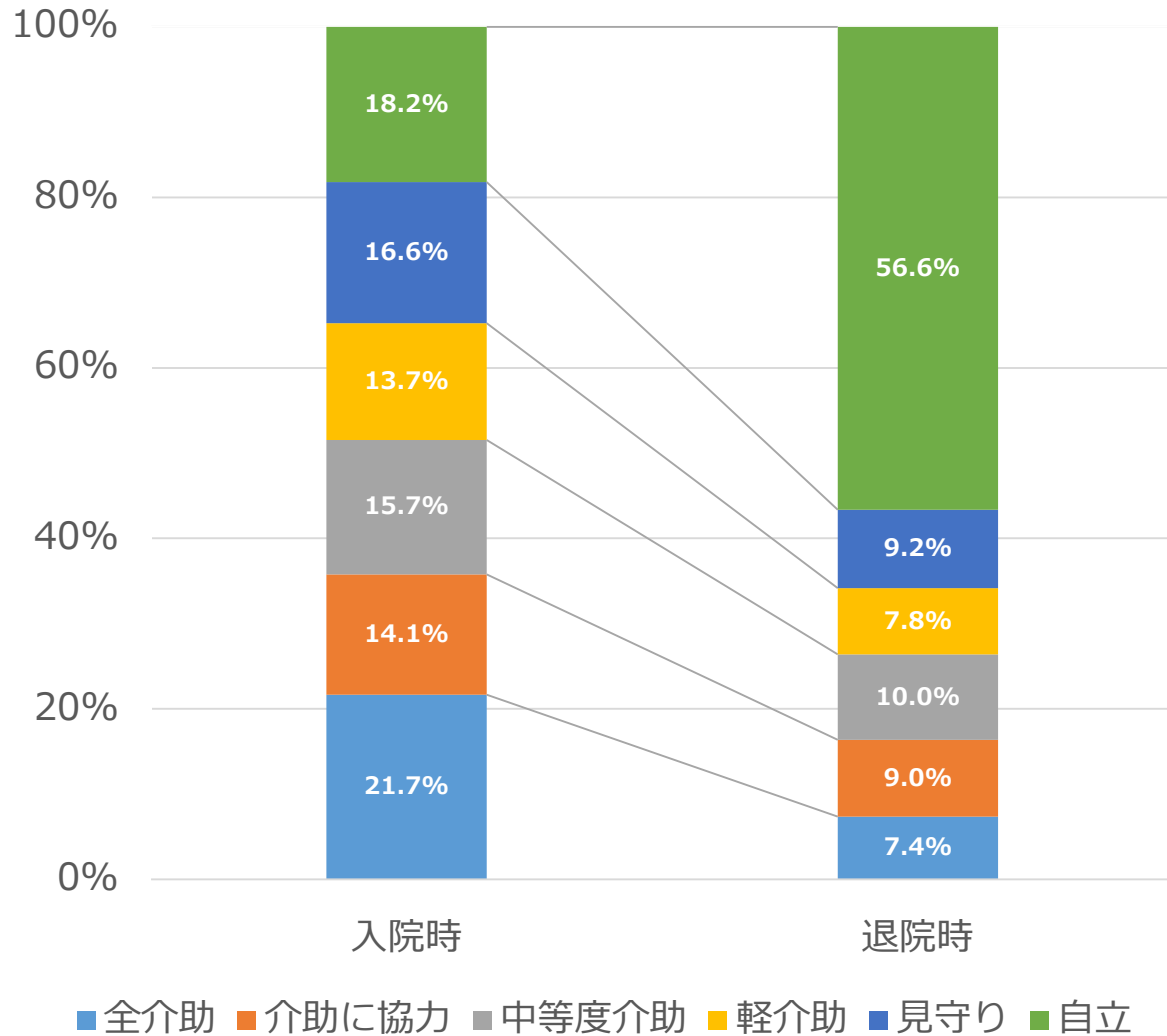


整容

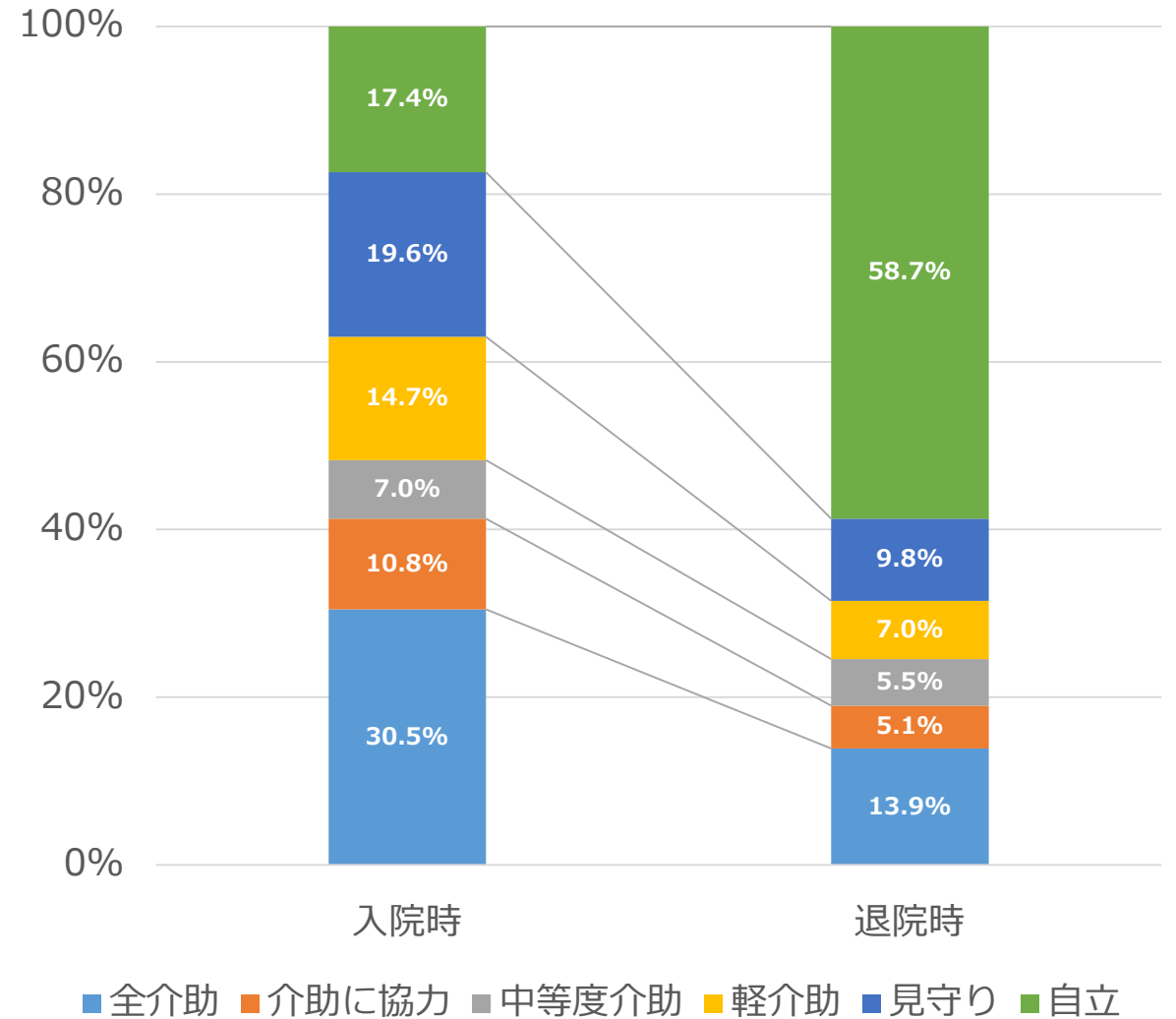


ADL：更衣・トイレ

更衣

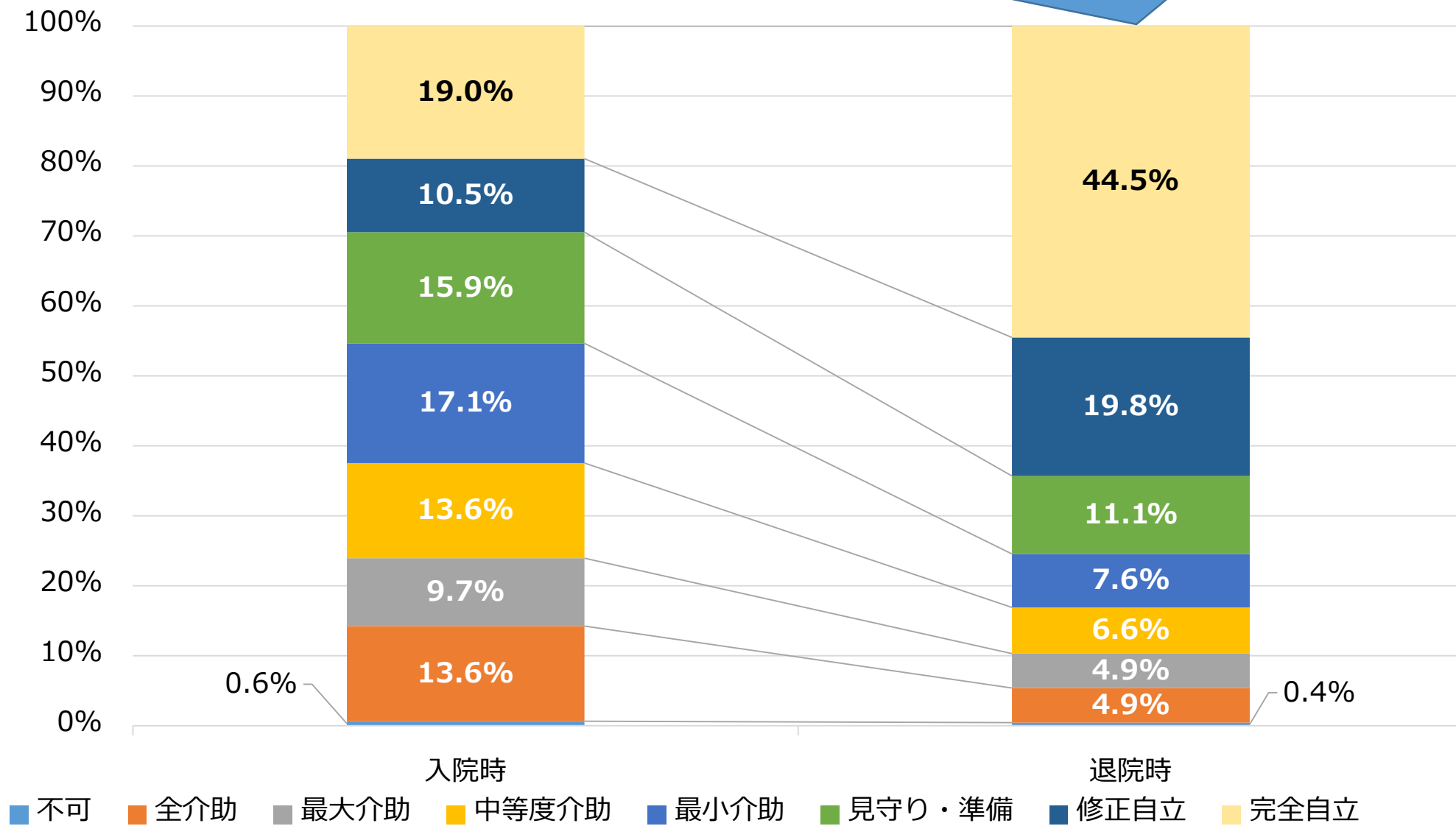


トイレ



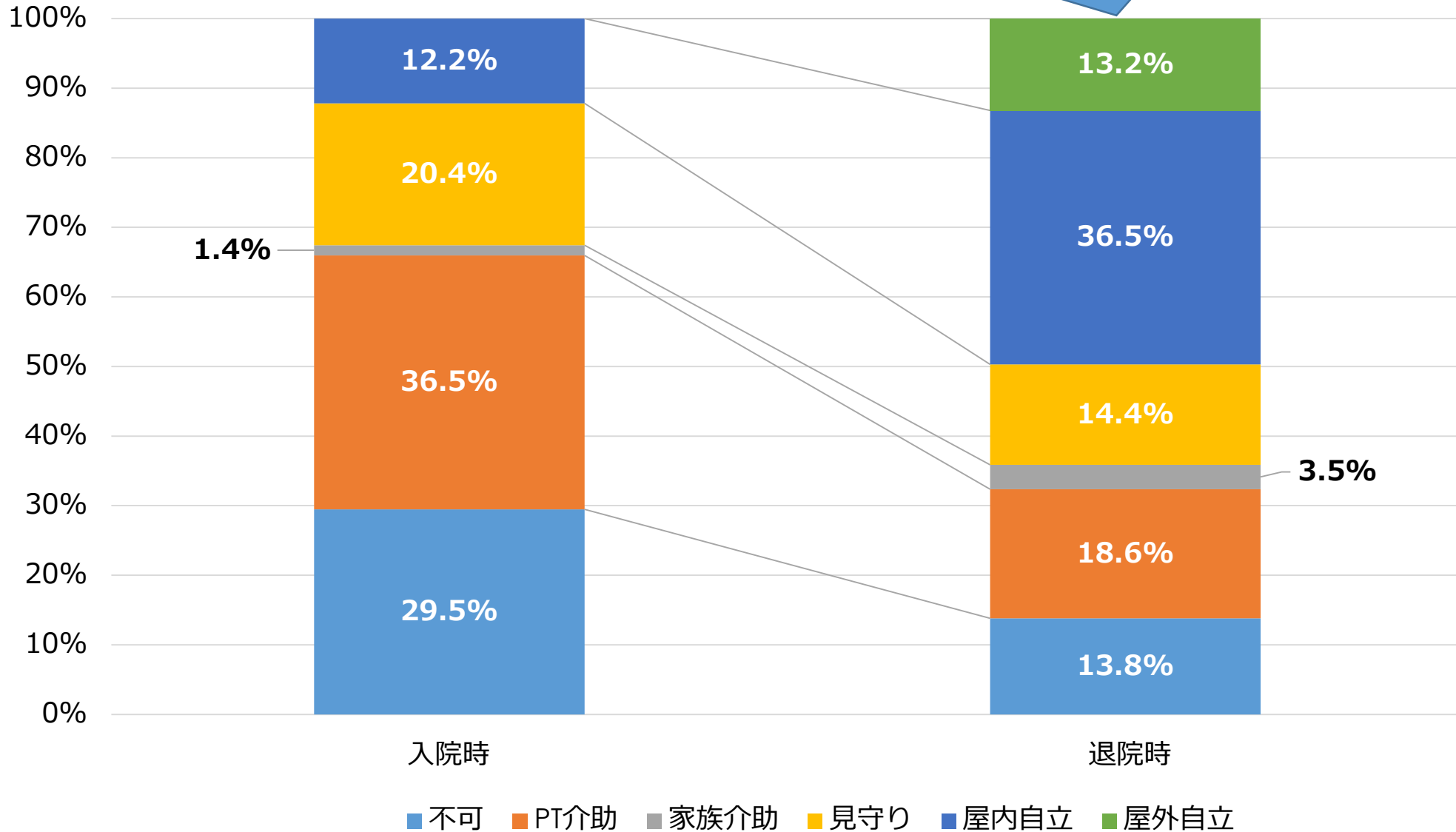
移乗

入院時に移乗が自立している人は約30%でしたが、退院時は約64%の方が自立しました



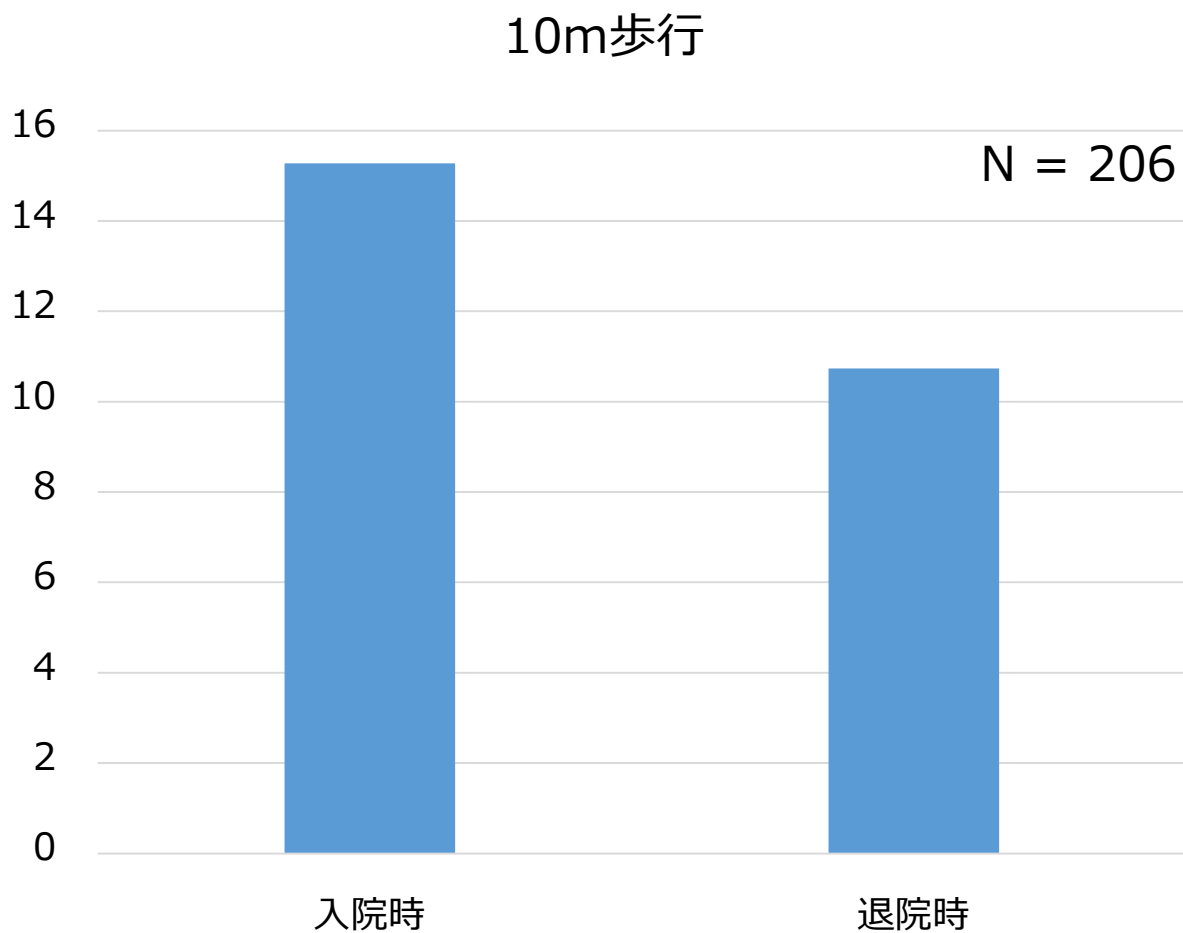
歩行

入院時に歩行が自立している人は約12%でしたが、退院時は約50%の方が自立しました

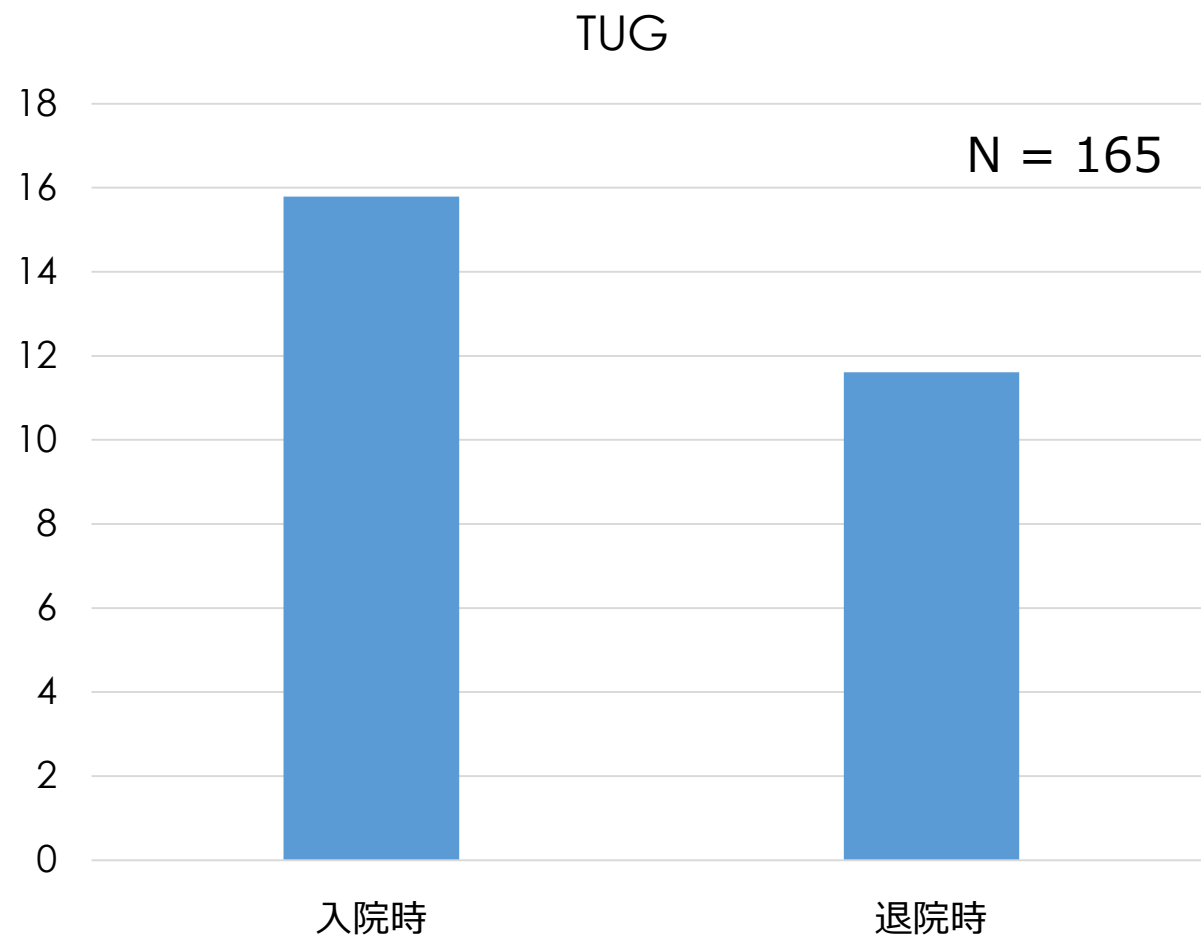


10m歩行、Timed up & Go Test (TUG)

* 入院時に評価可能であったものに限る



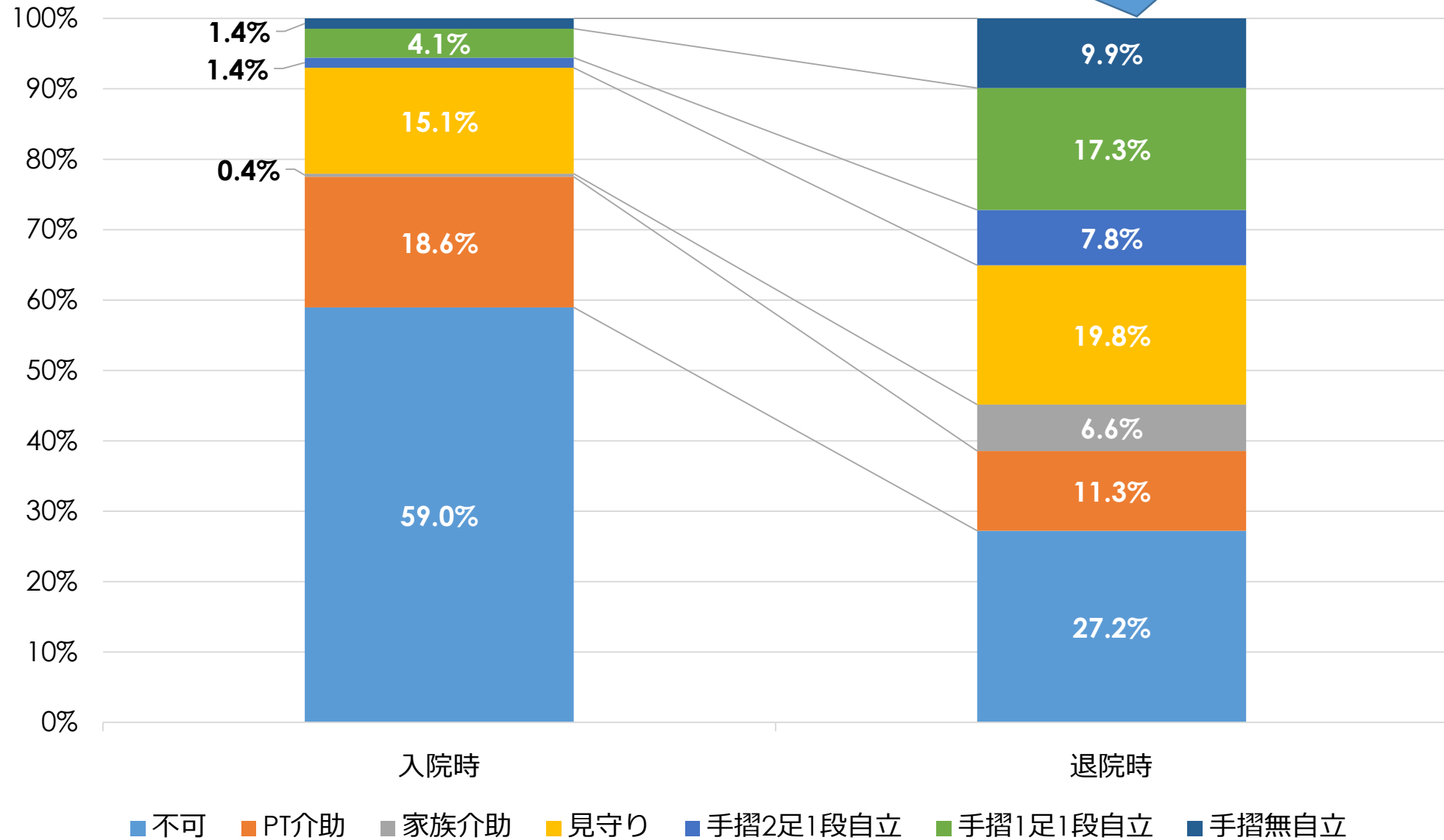
* 10m歩くのに要する時間 (秒) を計測したものです



* TUGは歩行や生活動作における転倒リスクを評価する為、椅子から立ち上がり3m歩行を往復し椅子に座るまでの時間 (秒) を計測したものです

階段

入院時に階段が自立している人は約7%でしたが、退院時は約35%の方が自立しました



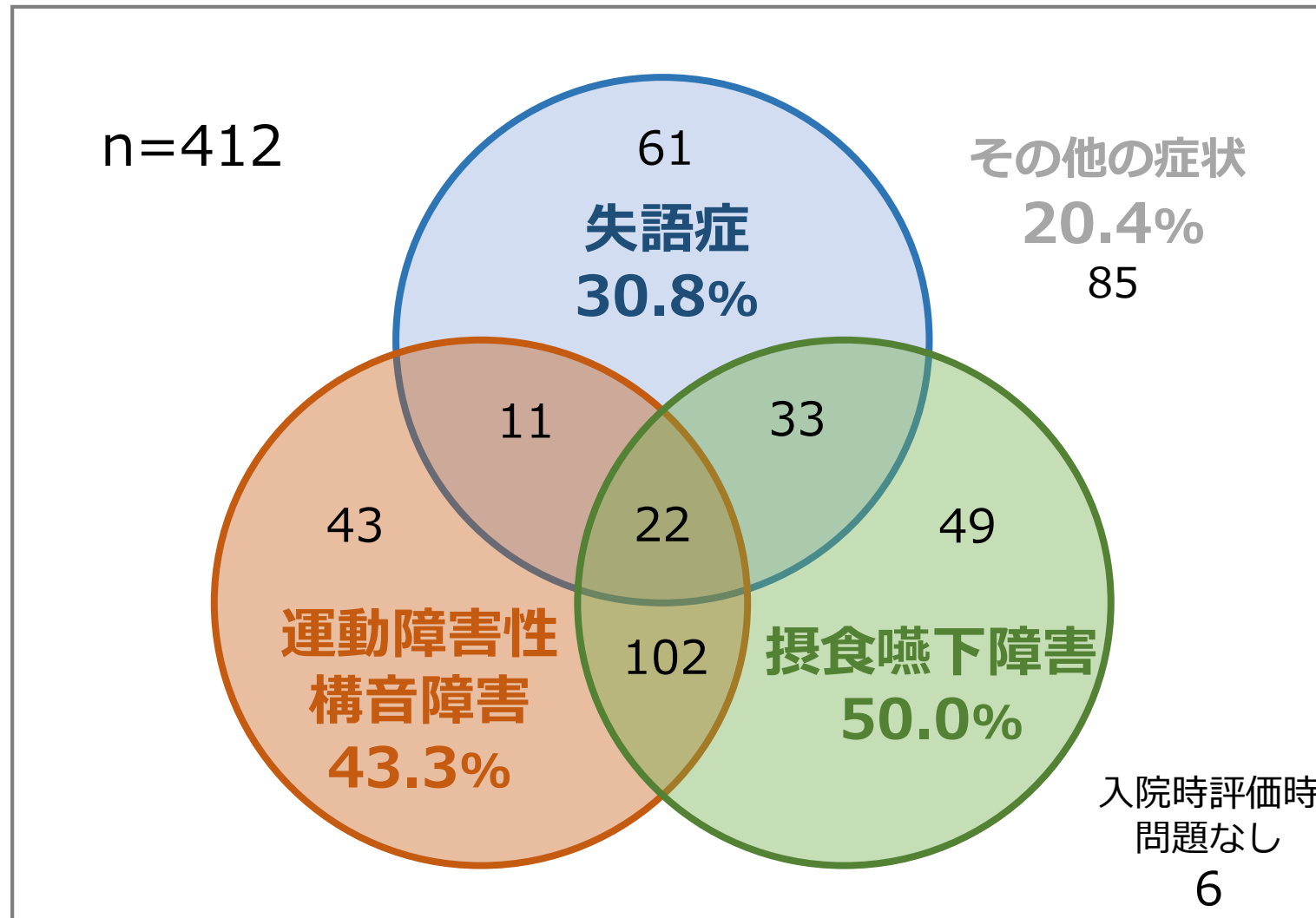
退院時使用装具

退院時歩行レベル

	不可	PT介助	家族介助	見守り	屋内自立	屋外自立
長下肢装具	1	2	1			
短下肢装具	3	17	8	15	19	4
足部装具		1		1	10	3
その他	4	3		2	2	0
不必要	57	67	8	52	144	57

退院時使用装具

言語聴覚療法対象者の内訳（回復期病棟・障害別）



失語症重症度

(入院時と退院時の比較)

退院時
失語症重症度

正常					1	1	1
極軽度				2	4	13	6
軽度				5	7	10	
中等度 ~軽度	1		3	7	5		
中等度		2	10	10			
重度 ~中等度	1	7	17				
重度		10					
評価困難	5						
	評価困難	重度	重度 ~中等度	中等度	中等度 ~軽度	軽度	極軽度

入院時 失語症重症度

n=127

* 失語症重症度は正常~重度・評価困難の8段階で評価しています。

運動障害性構音障害 発話明瞭度（入院時と退院時の比較）

退院時
発話明瞭度

1	1							1	19	8
1.5	2				1		5	27	26	
2	1				1	3	12	25		
2.5	2					3	8	2		
3				2	3	5				
3.5				3	4					
4				1						
4.5	1									
5	1									
評価困難	10									
	評価困難	5 まったく わからない	4.5	4 時々わかる 語がある	3.5	3 話題を知って いればわかる	2.5	2 ときどき わからない	1.5	1 よくわかる

n=177

入院時 発話明瞭度

* 発話明瞭度（話の内容がどの程度聞き取れるか）は9段階で評価しています。

（1.よくわかる 2.時々わからない語がある 3.聞き手が話題を知っていればわかる 4.時々わかる語がある 5.全くわからない、これらの中間段階0.5）

摂食嚥下障害 FILS（入院時と退院時の比較）

退院時 Lv.	入院時 Lv.						Lv.7	Lv.8	Lv.9	Lv.10
	Lv.1	Lv.2	Lv.3	Lv.4	Lv.5	Lv.6				
Lv.10		3	2			2	25	28	9	1
Lv.9			1	1		2	18	5	2	
Lv.8		3				2	27	10	1	
Lv.7	1	6		2	1		18	1		
Lv.6		1	1							
Lv.5								経管抜去率 43.3%		
Lv.4		1		1			1			
Lv.3		9	1			1				
Lv.2	1	15				1				
Lv.1	2									
	Lv.1 訓練適応なし	Lv.2 間接訓練	Lv.3 直接訓練	Lv.4 楽しみ程度	Lv.5 1~2食経口	Lv.6 3食+経管	Lv.7 嚥下食3食	Lv.8 一部を除き3食	Lv.9 常食・観察要	Lv.10 常食

n=206

* FILSは摂食嚥下障害患者における摂食状況のレベルを評価する指標です

Lv.1~Lv.3 : 食物を使用した練習をしていない~食物を使用した練習の開始段階

Lv.4~Lv.6 : 経口摂取と経管栄養の併用

Lv.7~ : 経口摂取のみ